

作業療法技術学演習

[演習] 第1学年 後期 必修 1単位

《担当者名》 浅野雅子 asanom@hoku-iryu-u.ac.jp 近藤里美 吉田彩華

【概要】

作業療法技術の一つとして位置づけられる作業活動について、その基礎となる基礎作業学概念および“作業”の価値や利用、作業療法と“作業”の関係性や作業分析の構造などについて講義を通して学ぶ。同時に、作業療法の治療手段として用いる代表的な作業活動を実際に経験し、臨床場面で作業活動を治療として実施するにあたり必要な知識や技術を身につける。

【学修目標】

<一般目標>

- ・作業療法における基礎作業学概念と作業の利用について理解する。

<行動目標>

1. 作業療法と“作業”の基本概念を説明することができる。
2. “作業”が作業療法で用いられる理由を説明できる。
3. 作業分析の構造について説明することができる。
4. 演習で実施する作業活動について、その特性を説明することができる。
5. 演習で実施する作業活動について、一般分析を行うことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・講義の進め方、概要、評価の説明 ・作業分析とその構造について理解する	浅野雅子
2) 3	作業活動：籐細工 根締め・底部編み	・籐細工における道具・材料の特性を理解する ・籐細工の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する	浅野雅子 吉田彩華
4) 5	作業活動：籐細工 側面編み・縁留め	・籐細工における道具・材料の特性を理解する ・籐細工の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する ・籐細工の提示および指導ができる	浅野雅子 吉田彩華
6) 7	作業活動：皮革細工 裁断・デザイン	・皮革細工における道具・材料の特性を理解する ・皮革細工の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する	浅野雅子 吉田彩華
8) 9	作業活動：皮革細工 染色・縫製など	・皮革細工における道具・材料の特性を理解する ・皮革細工の作成工程を体験し、作業活動の特性および安全管理について理解する ・皮革活動の提示および指導ができる	浅野雅子 吉田彩華
10	一般分析：作業特性	・経験した作業活動の作業特性を理解する	浅野雅子
11) 12	作業活動：音楽活動	・音楽を療法的に用いるにあたり、その基礎について体験を通して学ぶ ・音楽活動における道具・材料の特性や安全管理について理解する	近藤里美 浅野雅子
13) 14	作業活動：園芸活動	・園芸を療法的に用いるにあたり、その基礎について体験を通して学ぶ ・園芸活動における道具・材料の特性や安全管理について理解する	浅野雅子 吉田彩華
15	一般分析：包括的作業分析 まとめ	・包括的作業分析について学び、経験した作業活動（籐細工、及び皮革細工）の包括的作業分析を行うことができる	浅野雅子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

作品提出 50%（籐細工・皮革細工は各20%、園芸10%）

定期試験 50% (一般分析40%、音楽10%)
試験の詳細については適宜担当教員に確認すること。

【教科書】

濱口豊太 他 編 「標準作業療法学(専門分野)基礎作業学(第3版)」 医学書院 2017年

【参考書】

古川宏 監 「作業活動実習マニュアル(第2版)」 医歯薬出版 2018年
日本作業療法士協会 編 「作業 - その治療的応用(改訂第2版)」 協同医書出版 2003年
山根寛 他 「ひとと作業・作業活動 作業の知をとき技を育む(新版)」 三輪書店 2015年

【学修の準備】

多くの道具や材料を用いますので細心の注意を払って参加し、各作業活動で作成する作品は必ず仕上げて提出すること。
各回ごとに資料やノートなどを整理し、予習・復習を行うこと(各80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

(DP3) 作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

浅野雅子(作業療法士・音楽療法士)、近藤里美(音楽療法士)、吉田彩華(作業療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や福祉施設での臨床経験を活かし、講義を行う。